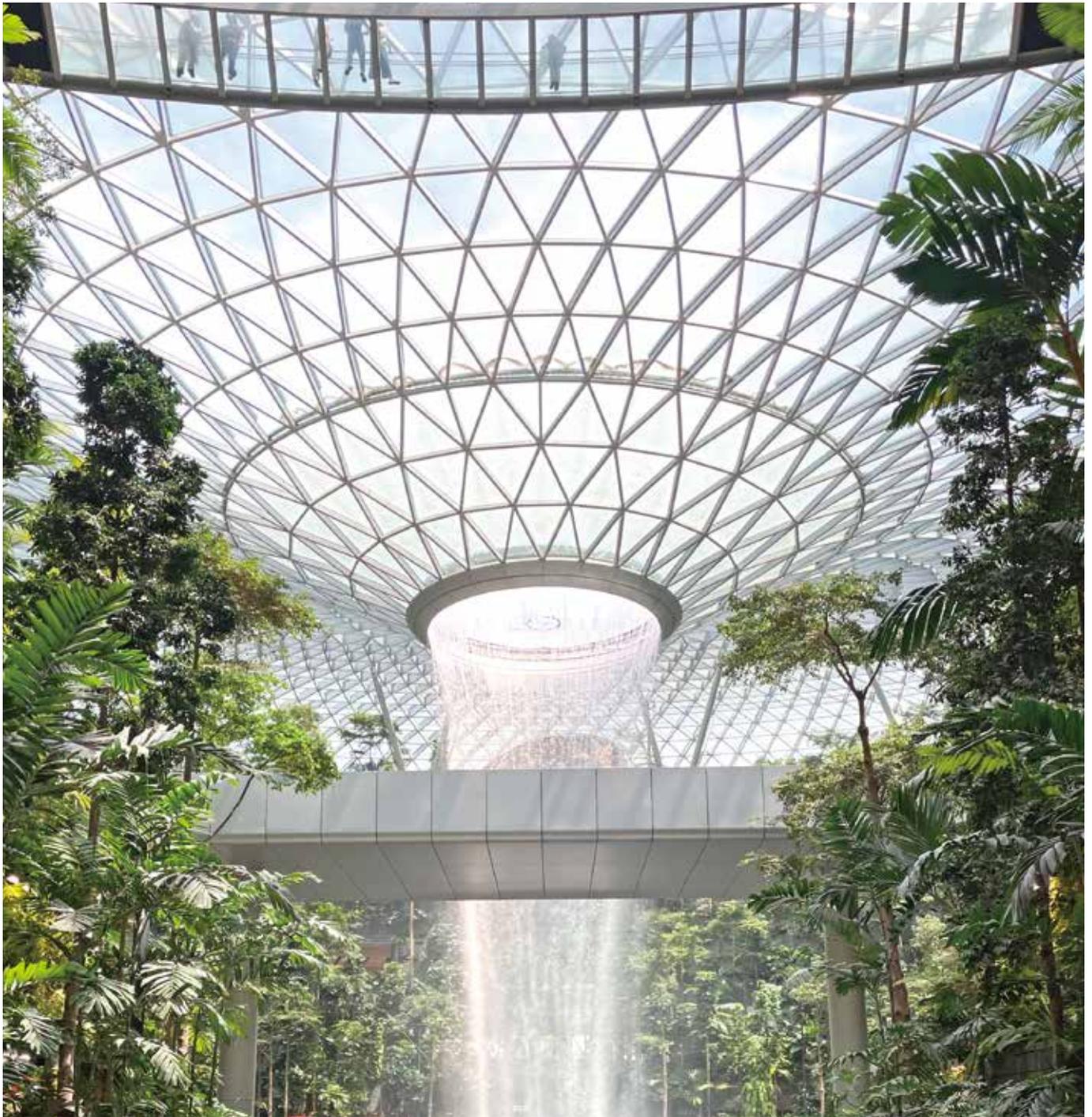


広島シンガポール協会会報 No.56



広島シンガポール協会
会長
武田 龍雄

会員の皆様におかれましては、平素より広島シンガポール協会の活動にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年度前半は、5月に、シンガポール日本語研修留学生奨学金制度第17期生をお迎えいたしました。奨学生は、令和6年3月まで、学校法人山中学園三原国際外語学院様で日本語の勉学をされる予定です。6月には、約3週間の日程で、「日本企業体験研修」を4年ぶりに実施し、受入企業様とホストファミリーの皆様のご協力のもと7名の研修生を受け入れ、実際の就業体験をしていただきました。また、6月27日には総会・懇親会を開催いたしました。総会・懇親会には、駐日シンガポール大使館から、ダレル・チュア参事官にご臨席いただき、会員の皆様方とも大変有意義な時間を過ごすことができました。

8月には、駐日シンガポール大使館より、オン・エン・チュアン特命全権大使ご夫妻が来広され、当協会関係者と親交を深めることができました。また、「第14回シンガポール親善訪問団」の派遣では、私も団長として参加し、シンガポール国立大学への表敬訪問とともに、これまで当協会の研修に参加した学生・卒業生との交流会を開催し、旧交を温めることができました。

本年度後半は、10月に、国立シンガポール・ポリテクニック校の日本語成績優秀学生2名を招待いたしました。11月には、広島国際会議場で開催された「国際フェスタ2023」へ出展し、多くの来場者の皆様にご協会の活動を知っていただきました。

今後も、学生交流支援事業を中心に、シンガポールと広島との友好親善に寄与できる活動を続けてまいりますので、引き続き、皆様方の温かいご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

広島シンガポール協会 第29回総会開催

令和5年6月27日(火)、リーガロイヤルホテル広島において、理事会、総会を開催し、令和4年度事業報告・および収支決算、令和5年度事業計画案および収支予算案についてご審議いただき、原案どおり承認されました。また、今回はシンガポール共和国大使館より参事官のダレル・チュア様にご臨席いただきました。

理事会

総会に先立ち、午後5時30分より、リーガロイヤルホテル広島4階「竹の間」において理事会が開催され、総会提案の議案を審議した後、役員の改選についても原案どおり承認されました。



▲理事会

総会

定刻午後6時より「クリスタルホール」において開催(出席者は会員829名中、委任状含み604名出席)されました。

総会では、武田会長を議長とし、議案についての審議が行われ、全て原案どおり承認されました。(令和5年度事業計画は別掲P3)

また、シンガポール大使館よりダレル チュア参事官をお招きし、当協会が設立当初より取り組んでいる学生交流支援活動に対し、感謝の意を述べられると共に、活動を通しシンガポールと広島との絆がより一層強固になる事を願うと述べられました。



▲武田会長



▲ダレル・チュア参事官

支援金贈呈式

当協会の日本企業体験研修で来広中のシンガポール国立大学生7名に対し、学生交流支援金の贈呈が行われ、代表のウー・ジュンハオさんより、日本語でお礼の挨拶がありました。

また、シンガポール日本語研修留学生奨学金制度の第17期生として、5月より学校法人山中学園三原国際外語学院で日本語を学ばれているチョン・クワング・エイク・エルデリックさんにも、支援金が送られました。



▲シンガポール国立大学生への支援金贈呈



▲日本語研修留学生奨学金制度第17期生への支援金贈呈

演奏会

マリンバ奏者の石原有希子さんによる演奏会が行われました。

『広島から「平和の調べ」を福島へ石原有希子が奏でる福島復興応援コンサート』他、国内外を問わず音楽を通じた活動の場を拡げておられます。

当日は、大下枝里子さん(ピアノ)と大西里歩さん(広島マリンバガールズ)と近藤来実さん(広島マリンバガールズ)の4名での演奏で、歌劇「ウィリアム・テル」序曲や「マイアミ・ビーチ・ルンバ」「ザビアクガート」など演奏いただき、マリンバの美しく優しい音色が会場に響き渡りました。



▲演奏



▲懇親会(乾杯)



▲懇親会

懇親会

会員の皆様の他にシンガポール国立大学生がお世話になったホストファミリーや受入企業の担当者様にもご参加いただきました。

広島シンガポール協会 令和5年度事業計画

1. 学生交流の資金支援

- ・シンガポール国立大学日本企業体験研修生への支援(令和5年6月)■
- ・シンガポール日本語研修留学生((学)山中学園三原国際外語学院)への支援(令和5年6月)■
- ・国立シンガポール・ポリテクニク校の日本語成績優秀学生への支援(令和5年10月)■
- ・シンガポール国立大学日本理解研修生引率教師への支援(令和5年12月)■
- ・シンガポール国立大学日本理解研修生への支援(令和5年12月)■
- ・シンガポール日本語研修留学生((学)山中学園三原国際外語学院)への支援(令和5年12月)■
- ・シンガポール国立大学冬季日本語短期研修生((学)山中学園三原国際外語学院)への支援(令和5年12月)■
- ・シンガポール日本語研修留学生((学)山中学園三原国際外語学院)への支援(令和6年3月)

2. 学生交流の受入

- ・シンガポール国立大学日本企業体験研修生8名の受入コーディネイトの実施(令和5年6月6日～7月1日)■
- ・国立シンガポール・ポリテクニク校の日本語成績優秀学生2名の招待(令和5年10月1日～10月10日)■
- ・シンガポール国立大学生および引率教師の日本理解研修コーディネイトの実施(令和5年12月11日～12月17日)■

3. 学生交流に伴う各種交流事業

- ・シンガポール国立大学日本企業体験研修生と広島修道大学生との交流会(令和5年6月8日)■
- ・シンガポール国立大学日本企業体験研修生と広島市立大学生との交流会(令和5年6月7日)■
- ・シンガポール国立大学日本企業体験研修生と広島信用金庫若手職員との交流会(令和5年6月21日)■
- ・シンガポール国立大学日本企業体験研修生 フェアウェルパーティー(令和5年6月30日)■
- ・シンガポール国立大学日本理解研修生と広島市立大学生との交流会(令和5年12月)■

4. 広島シンガポール協会運営委員会の開催(令和5年4月21日)■

5. シンガポール日本語研修留学生奨学金制度の実施【第17期生】(令和5年5月～令和6年3月)

6. 理事会・総会・懇親会の開催(令和5年6月27日)■

7. 第14回シンガポール親善訪問団の派遣(令和5年8月22日～8月27日)■

8. 令和5年度「国際フェスタ2023(国際交流・協力の日イベント)」への参加(令和5年11月19日)■

9. シンガポール学生との交流会の開催(令和5年12月14日)■

10. 講演会の開催(令和6年3月14日)

11. 会報誌の発行(令和5年5月、令和5年12月)

注：■印は本誌発行時点において、すでに完了している事業

シンガポール国立大学日本企業体験研修生の受入

令和5年6月6日～7月1日



▲広島信用金庫来庫表敬訪問

広島シンガポール協会では、シンガポールの大学生に日本、および日本企業をより深く理解してもらい、大学で学んだ日本語に磨きをかけてもらうことを目的に、平成10年より本事業を実施しており、ANAクラウンプラザホテル広島、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社JTB、株式会社リーガロイヤルホテル広島、広島信用金庫の各企業にご協力いただきました。

各企業において、日本のビジネス文化やビジネスマナーなど、職場体験を通し、仕事内容を理解するのはもちろん、日本とシンガポールの会社組織における風土の違いも体感できた様です。

なお、研修期間中、学生達は以下の行事にも参加しました。

〈6月7日(水)〉

広島市立大学を訪問し、広島ユネスコ協会参与の藤井正一さんに「広島原爆後の復興」について英語で講義していただきました。講義後は懇親会を開催し、広島市立大学の学生との交流を深めました。夜は、同大学国際学生寮「さくら」に宿泊させていただきました。



▲広島修道大学での授業風景 修道大学



▲広島市立大学での授業風景 市立大学

〈6月8日(木)〉

広島修道大学を訪問し、同大学内にある国際センターのご協力の元、広島修道大学の学生との昼食会・交流会を開催していただきました。また、英語のみで行うディベートを実施し、両国の考え方・違い等を体感するとともに、同世代の学生との交流を深める事ができました。



▲ホームステイ

〈6月16日(金)～6月18日(日)〉・〈6月23日(金)～6月25日(日)〉

各ご家庭に分かれ、ホームステイを経験しました。ホストファミリーとして、ヒッポファミリークラブ西日本様、広島信用金庫の職員にご協力いただき、楽しい週末を過ごさせていただきました。

〈6月21日(水)〉

広島信用金庫若手職員との意見交換会が行われ、「平和について」「仕事の多様化について」「海外就職について」「男女平等について」などのテーマでディスカッションを行い、日本とシンガポールとの違いなどを認識する事ができました。



▲広島信用金庫職員との交流会

金庫職員からは、シンガポールの学生達は将来の明確なビジョンを持っており、それに向けて段階的に努力を重ねており大変刺激を受けたという意見も聞かれ、仕事や将来に対する意識を高める有意義な時間となりました。

〈6月30日(金)〉

お世話になった受入企業の研修担当者をお招きし、ANAクラウンプラザホテル広島において、フェアウェルパーティーを開催いたしました。勤務先でのエピソードなど思い出話を花をさかせ、記念撮影等で大変盛り上がり、笑顔で再会を祈念し本研修会を終えました。



▲フェアウェルパーティー



広島修道大学 国際コミュニティ学部 2年 藤川 巧汰

大学の国際センターから「シンガポール国立大学の学生が修道大学を訪問する。」と聞いて、この交流会に参加した。まず行ったのは、iCafeだ。これは、主に留学生などとの交流に使用されているスペースだ。そこで昼食をとりながら英語で交流を開始した。彼らの多くは日本と何らかの関わりを持っていることに驚いた。親や親戚が日本人という学生もいた。そのためか日本語が話せたり、簡単な日本語なら理解できたりする人もいた。

その後、ディスカッションに移った。お互いの国のおすすめ観光スポットや食べ物などに加え、異文化に対する考え方の違いなども話し合った。日本よりもかなりダイバーシティ

化が進んでいるシンガポールに住む人々の、広い価値観を知ることができ視野が広がった。

このイベントがきっかけのひとつとなり、この冬に友人とシンガポールに旅行することになった。そこで、SNSで連絡してみたところ、快く様々な情報をくれた。うまく行けば現地で会えるかもしれない。

軽い気持ちで参加したが、新しい発見や友達と出会えるとても貴重な機会だった。

広島市立大学国際学生寮での多文化交流イベント 広島市立大学 国際学部3年 梶岡 大輝

広島市立大学国際学生寮「さくら」では、6月7日にショートステイの学生さんへの歓迎会を行いました。寮で暮らす留学生や日本人学生も参加し、国際色豊かなイベントになりました。

イベント前半は日本の遊びを紹介しました。

今回はかるた・こま・けん玉を紹介しました。最近触れる機会が少なくなってきたからか、中には日本人学生が苦戦する様子も見受けられましたが、みんなで挑戦しながら文化交流ができました。

イベント後半は日本の食べ物を紹介しました。

今回は寿司や天ぷら、そして広島のソウルフードであるお好み焼きを、一緒に作って食べながらシンガポールの皆さんに知っていただきました。夕食も兼ねて実施したので、食材が足りなくなるくらい盛り上がりました。

イベントを通して、日本とシンガポールの違いや日本の印象を知ることだけでなく、参加者それぞれの趣味や勉強していることについてお話ししながら交流を深めることができました。



このたびの日本企業体験研修ではお忙しい中、受入企業、ホストファミリーの方々をはじめたくさんの皆様にご尽力いただき、誠にありがとうございました。

本事業は、今後も引き続き実施していく予定ですので、会員の皆様におかれましても、学生受入企業、ならびにホストファミリーとしてのご協力を是非ともご検討いただきたいと思います。

シンガポール日本語研修留学生奨学金制度第17期生の紹介

シンガポール国立大学卒業生で、現在、第14期生として、今年5月から三原市の三原国際外語学院で勉強中のチョング・クワング・エイク・エルデリックと申します。

私は、16歳のとき、村上春樹の「ノルウェイの森」を読んで、日本文学に興味を持つようになりました。それから、色々な日本文学の本を読んで、「日本語で読んでみたいなあ」と思うようになり、日本語の勉強を始めました。大学での主専攻は哲学でしたが、副専攻として言語学や日本研究科を選びました。大学を通じて、一年間日本に住んで日本語を学ぶこのプログラムを知り、日本語力を磨いて日本文学を日本語で読むという私の目標を実現したいと思って、このプログラムに参加しました。

三原での生活は、シンガポールに比べて、穏やかでのんびりできます。ですが、私は日本語の勉強や交流事業などの活動があって忙しくて充実した毎日です。同時に、日本人の方と交流したりするチャンスがあり、日本社会や文化を肌で感じることができて、いい経験になっています。今回の三原での勉強は私にとって人生で初めての留学経験です。慣れ親しんだ環境から抜け出して自立することは、最初難しくてもたくさん勉強になります。特に、人間関係について学びました。違う文化の人と一緒に学校生活を送り、共に考えて、いい関係を育てることなど、色々なことを身につけました。この留学の経験を活かして、できれば、将来は日本語を使う仕事をしたいと思っています。卒業までに、日本語の会話がもっと上手なるようにこれからがんばります。



広島シンガポール協会 第14回シンガポール親善訪問団の派遣

広島シンガポール協会では、令和5年8月22日(火)～27日(日)の日程で、第14回シンガポール親善訪問団を派遣し、シンガポールとベトナム(ホーチミン)を訪問しました。武田会長を団長に18名の親善訪問団は、シンガポール国立大学への表敬訪問をし、広島で企業研修等を体験した学生たちとの交流会の開催など、親善訪問ならではの交流・親睦を図ることができました。今回参加された松本 康弘様にご寄稿いただきましたので寄稿文を掲載いたします。

広島シンガポール協会親善訪問を終えて

株式会社NTTデータ中国 松本 康弘



2023年8月22日(火)

関西国際空港にAM9:00に集合し、結団式を行い、いざ、シンガポールへと意気揚々と飛行機に乗り込みました。約6時間のフライトを経て、シンガポールに到着後、四川料理店にておいしい夕食をいただきました。今回ご一緒した訪問団の皆さんは、とても気さくで楽しいひとときを過ごしました。

2023年8月23日(水)

シンガポール国立大学へ訪問。企業体験研修で広島に来ていた学生の皆さんの案内で、キャンパス内を見学しました。

校舎内の日本研究学科の掲示板には、広島シンガポール協会との共催による広島企業体験研修やホームステイの記事が掲示されています。これにはシンガポール国立大学と広島のつながりを感じることができました。日本研究学科のフロアには、茶室もありました。扉を全開にすることで、テラスとひと続きの舞台にもなるそうです。



次に向かったのは日本研究学科の教室です。講義中でしたが、ご厚意で見学させてもらいました。そこで、30年前の私の大学時代との相違点を3つ発見しました。1つ目は、エアコンが効いていて涼しく集中できる環境であること。2つ目は、全員がパソコンかタブレットを活用して受講していること。最後に、居眠りしている学生のいないことです。学生皆さんの日本を真剣に学ぼうとする姿勢は、私にはとてもまぶしく映りました。ちなみに講師の方も、学生時代、広島企業体験研修の参加者だったそうです。広島シンガポール協会のこの取り組みは、シンガポールと広島、日本との関係強化に一役も二役も買っているのだと実感いたしました。

ランチは、学生の皆さんと学食でいただきました。メニューは、シンガポールの名物チキンライスから、中華料理や台湾のルーローハン、韓国料理そして和食などバリエーション豊富です。なんと外部のフードデリバリー業者も多く出入りしていました。

キャンパスは広く、緑が多くきれいです。学食もとてもおいしく、環境は整備されています。学生の皆さんをとてもうらやましく思いました。

午後からは、シンガポール国立大学を離れ、マーライオン、植物園を廻りました。植物園の中の蘭園は、多種多様な蘭が咲いておりとてもきれいでした。シンガポール唯一の世界遺産は、植物園だそうです。

マーライオンは世界遺産ではないのは意外でした。

夕食は再び、シンガポール国立大学の学生さんと合流し、交流会です。おいしいシンガポール料理をいただきながら、将来の希望や地元のお話など、学生の皆さんからたくさんの刺激をいただきました。



2023年8月24日(木)

3日目はシンガポール市内のチャイナタウン、リトルインディア、アラブストリートを見学しました。シンガポールという国はそのルーツから、多種多様な民族・文化が混在しています。そしてどの街も治安が悪いということもありません。シンガポールは、多様性を受け入れる度量と土台となる規律を併せ持っている国なんだと思います。

夕方には、空路でベトナムのホーチミンへ。夕食はホーチミンの繁華街のレストランでいただきました。移動のバスから見た、ホーチミンの市街はたくさんのスクーターで溢れており、ちょっとしたカルチャーショックでした。中には3人乗り、4人乗りなど無茶な乗り方も見受けられます。いま、ホーチミンは地下鉄の敷設工事中ですが、まだ鉄道はなく、主な移動手段がスクーターなのだそうです。

なかでも日本製のスクーターはとても人気が高く、日本での価格より高価とのこと。ちなみにビールも日本より高いです。日本は意外に物価も高くないのかも知れません。



2023年8月25日(金)

4日目はメコン川を訪れました。川幅は最大3kmととても大きな川です。ゆっくりな流れも相まってその雄大さは一層際立ち、とても感動しました。川は泥で濁って茶色ですが、この泥の栄養が肥沃な土壌という恩恵をこの土地に与えているそうです。



さて、メコン川にある中州の島に上陸し、養蜂場、ココナッツキャンディ工場を見学後、ジャングルクルーズを楽しみました。中州の島には、観光を中心とした産業があり、そこに生きる人々の暮らしを肌で感じることができました。

2023年8月26日(土)

ホーチミン最終日は、市内の名所を廻りました。まずは南ベトナム政権時代の大統領官邸です。優雅さとベトナム戦争時の緊張感が感じられました。次に歴史的な建物の中央郵便局を見学後、ペンタイン市場を訪問しました。この市場では、壁のように重ねた多くのブランドバックやスニーカーのフェイクやお土産物を売っています。店員さんの皆がくちぐちに、「あなた、何探してる」と日本語で声をかけてきます。この街の活気が濃縮されたような場所でした。今回の親善訪問の行程の中で強く印象に残った場所の一つです。



昼食後、自由行動を経て、帰路につきます。ホーチミンからシンガポールを経由し、関西国際空港へ機内泊となります。あっという間でしたが、無事に終えることができました。

最後に

今回の訪問の中では、特に、シンガポール国立大学の学生の皆さんの前向きさ、シンガポールの多様性、ベトナムのエネルギー感に感銘を受けました。この経験は私の人生の中で大きな財産になると思います。参加できて大変良かったと心から思います。

最後になりましたが、このような国際交流の機会をいただき、広島シンガポール協会の武田会長、事務局の皆様、ご一緒させていただきました参加者の皆様、JTB長尾様、大変ありがとうございました。

協会役員名簿

協会名誉顧問・顧問

業名	氏名	現職名
名誉顧問	オン・エン・チュアン	シンガポール共和国駐日本国 特命全権大使
顧問	湯崎 英彦	広島県知事
顧問	松井 一實	広島市長
顧問	池田 晃治	広島県商工会議所連合会 会頭

協会参与

業名	氏名	備考
参与	高木 一之	広島信用金庫 元理事長
参与	坪井 宏	広島信用金庫 元理事長

協会役員

(50音順)

職名	氏名	現職名
会長	武田 龍雄	広島信用金庫 会長
副会長	田中 浩憲	マツダ株式会社 常務執行役員 アセアン事業担当、マツダ・サウス・イースト・アジア,Ltd.社長
専務理事	川上 武	広島信用金庫 理事長
理事	石田 恒夫	学校法人石田学園 理事長
理事	上田 宗岡	上田宗箇流 家元
理事	植竹 正隆	中国塗料株式会社 代表取締役会長
理事	植野 実智成	広島商工会議所 専務理事
理事	越智 光夫	広島大学 学長
理事	熊平 明宣	株式会社熊平製作所 代表取締役社長
理事	蔵田 秀和	公益財団法人ひろしま産業振興機構 常務理事
理事	小泉 崇	公益財団法人広島平和文化センター 理事長
理事	坂本 眞平	広島工業大学専門学校 校長
理事	佐々木 孝富	オタフクソース株式会社 代表取締役社長
理事	高橋 正光	萬国製針株式会社 代表取締役会長
理事	田中 秀和	田中電機工業株式会社 代表取締役会長
理事	田原 範朗	公益財団法人広島市文化財団 理事長
理事	中川 日出男	学校法人広島女学院 理事長
理事	新延 聡子	広島テレビ放送株式会社 常勤監査役
理事	西田 敏啓	公益財団法人ひろしま国際センター 専務理事(兼)事務局長
理事	原田 康夫	広島大学 同窓会長 名誉教授
理事	前田 耕一	中国電力株式会社 常務執行役員 国際事業部門長
理事	箕輪 幸人	株式会社テレビ新広島 代表取締役社長
理事	宮迫 良己	株式会社中国放送 代表取締役社長
理事	三吉 吉三	株式会社広島ホームテレビ 代表取締役社長
理事	森 永力	県立広島大学 学長 兼 広島県公立大学法人 副理事長
理事	矢野 泉	広島修道大学 学長
理事	山根 恒弘	ヤマネホールディングス株式会社 取締役会長
理事	山本 慶一朗	株式会社中国新聞社 社主兼取締役
理事	若林 真一	広島市立大学 学長
監事	山口 真司	広島エフエム放送株式会社 代表取締役社長
監事	吉岡 敬司	広島信用金庫 専務理事

運営委員

(50音順)

氏名	現職名
郭 春貴	広島修道大学 名誉教授
瀧口 啓倫	広島工業大学専門学校 教頭
橋本 康男	初代・シンガポール広島事務所長
松田 敦子	公益財団法人ひろしま産業振興機構 国際ビジネス支援センター 部長
松本 峰男	株式会社熊平製作所 秘書室長
向久保 亨	公益財団法人広島平和文化センター 国際部 国際市民交流担当部長
山縣 透	公益財団法人ひろしま国際センター 交流部長(兼)総務課長
吉村 知子	株式会社中国新聞社 総務局次長兼読者広報部長
徳永 明彦	広島信用金庫 地域交流部長

事務局では、本会報を充実した楽しいものにするため、皆様の寄稿をお待ちしております。
住所・氏名・電話番号を明記の上、事務局までお寄せ下さい。

2023年12月刊行

問合せ先/広島シンガポール協会事務局 TEL(082)245-0512 FAX(082)241-0531 E-mail: tiiki@hiroshin9.jp
(〒730-8707 広島市中区富士見町3番15号 広島信用金庫地域交流部内) <https://www.hiroshin.co.jp>

広島シンガポール協会 第29回総会開催

令和5年6月27日(火)、リーガロイヤルホテル広島において、理事会、総会を開催し、令和4年度事業報告・および収支決算、令和5年度事業計画案および収支予算案についてご審議いただき、原案どおり承認されました。また、今回はシンガポール共和国大使館より参事官のダレル・チュア様にご臨席いただきました。

理事会

総会に先立ち、午後5時30分より、リーガロイヤルホテル広島4階「竹の間」において理事会が開催され、総会提案の議案を審議した後、役員の改選についても原案どおり承認されました。



▲理事会

総会

定刻午後6時より「クリスタルホール」において開催(出席者は会員829名中、委任状含み604名出席)されました。

総会では、武田会長を議長とし、議案についての審議が行われ、全て原案どおり承認されました。(令和5年度事業計画は別掲P3)

また、シンガポール大使館よりダレル チュア参事官をお招きし、当協会が設立当初より取り組んでいる学生交流支援活動に対し、感謝の意を述べられると共に、活動を通しシンガポールと広島との絆がより一層強固になる事を願うと述べられました。



▲武田会長



▲ダレル・チュア参事官

支援金贈呈式

当協会の日本企業体験研修で来広中のシンガポール国立大学生7名に対し、学生交流支援金の贈呈が行われ、代表のウー・ジュンハオさんより、日本語でお礼の挨拶がありました。

また、シンガポール日本語研修留学生奨学金制度の第17期生として、5月より学校法人山中学園三原国際外語学院で日本語を学ばれているチョン・クワング・エイク・エルデリックさんにも、支援金が送られました。



▲シンガポール国立大学生への支援金贈呈



▲日本語研修留学生奨学金制度第17期生への支援金贈呈

演奏会

マリンバ奏者の石原有希子さんによる演奏会が行われました。

『広島から「平和の調べ」を福島へ石原有希子が奏でる福島復興応援コンサート』他、国内外を問わず音楽を通じた活動の場を拡げておられます。

当日は、大下枝里子さん(ピアノ)と大西里歩さん(広島マリンバガールズ)と近藤来実さん(広島マリンバガールズ)の4名での演奏で、歌劇「ウィリアム・テル」序曲や「マイアミ・ビーチ・ルンバ」「ザビアクガート」など演奏いただき、マリンバの美しく優しい音色が会場に響き渡りました。



▲演奏



▲懇親会(乾杯)



▲懇親会

懇親会

会員の皆様の他にシンガポール国立大学生がお世話になったホストファミリーや受入企業の担当者様にもご参加いただきました。

広島シンガポール協会 令和5年度事業計画

1. 学生交流の資金支援

- ・シンガポール国立大学日本企業体験研修生への支援(令和5年6月)■
- ・シンガポール日本語研修留学生((学)山中学園三原国際外語学院)への支援(令和5年6月)■
- ・国立シンガポール・ポリテクニク校の日本語成績優秀学生への支援(令和5年10月)■
- ・シンガポール国立大学日本理解研修生引率教師への支援(令和5年12月)■
- ・シンガポール国立大学日本理解研修生への支援(令和5年12月)■
- ・シンガポール日本語研修留学生((学)山中学園三原国際外語学院)への支援(令和5年12月)■
- ・シンガポール国立大学冬季日本語短期研修生((学)山中学園三原国際外語学院)への支援(令和5年12月)■
- ・シンガポール日本語研修留学生((学)山中学園三原国際外語学院)への支援(令和6年3月)

2. 学生交流の受入

- ・シンガポール国立大学日本企業体験研修生8名の受入コーディネイトの実施(令和5年6月6日～7月1日)■
- ・国立シンガポール・ポリテクニク校の日本語成績優秀学生2名の招待(令和5年10月1日～10月10日)■
- ・シンガポール国立大学生および引率教師の日本理解研修コーディネイトの実施(令和5年12月11日～12月17日)■

3. 学生交流に伴う各種交流事業

- ・シンガポール国立大学日本企業体験研修生と広島修道大学生との交流会(令和5年6月8日)■
- ・シンガポール国立大学日本企業体験研修生と広島市立大学生との交流会(令和5年6月7日)■
- ・シンガポール国立大学日本企業体験研修生と広島信用金庫若手職員との交流会(令和5年6月21日)■
- ・シンガポール国立大学日本企業体験研修生 フェアウェルパーティー(令和5年6月30日)■
- ・シンガポール国立大学日本理解研修生と広島市立大学生との交流会(令和5年12月)■

4. 広島シンガポール協会運営委員会の開催(令和5年4月21日)■

5. シンガポール日本語研修留学生奨学金制度の実施【第17期生】(令和5年5月～令和6年3月)

6. 理事会・総会・懇親会の開催(令和5年6月27日)■

7. 第14回シンガポール親善訪問団の派遣(令和5年8月22日～8月27日)■

8. 令和5年度「国際フェスタ2023(国際交流・協力の日イベント)」への参加(令和5年11月19日)■

9. シンガポール学生との交流会の開催(令和5年12月14日)■

10. 講演会の開催(令和6年3月14日)

11. 会報誌の発行(令和5年5月、令和5年12月)

注：■印は本誌発行時点において、すでに完了している事業

シンガポール国立大学日本企業体験研修生の受入

令和5年6月6日～7月1日



▲広島信用金庫来庫表敬訪問

広島シンガポール協会では、シンガポールの大学生に日本、および日本企業をより深く理解してもらい、大学で学んだ日本語に磨きをかけてもらうことを目的に、平成10年より本事業を実施しており、ANAクラウンプラザホテル広島、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社JTB、株式会社リーガロイヤルホテル広島、広島信用金庫の各企業にご協力いただきました。

各企業において、日本のビジネス文化やビジネスマナーなど、職場体験を通し、仕事内容を理解するのはもちろん、日本とシンガポールの会社組織における風土の違いも体感できた様です。

なお、研修期間中、学生達は以下の行事にも参加しました。

〈6月7日(水)〉

広島市立大学を訪問し、広島ユネスコ協会参与の藤井正一さんに「広島原爆後の復興」について英語で講義していただきました。講義後は懇親会を開催し、広島市立大学の学生との交流を深めました。夜は、同大学国際学生寮「さくら」に宿泊させていただきました。



▲広島修道大学での授業風景 修道大学



▲広島市立大学での授業風景 市立大学

〈6月8日(木)〉

広島修道大学を訪問し、同大学内にある国際センターのご協力の元、広島修道大学の学生との昼食会・交流会を開催していただきました。また、英語のみで行うディベートを実施し、両国の考え方・違い等を体感するとともに、同世代の学生との交流を深める事ができました。



▲ホームステイ

〈6月16日(金)～6月18日(日)〉・〈6月23日(金)～6月25日(日)〉

各ご家庭に分かれ、ホームステイを経験しました。ホストファミリーとして、ヒッポファミリークラブ西日本様、広島信用金庫の職員にご協力いただき、楽しい週末を過ごさせていただきました。

〈6月21日(水)〉

広島信用金庫若手職員との意見交換会が行われ、「平和について」「仕事の多様化について」「海外就職について」「男女平等について」などのテーマでディスカッションを行い、日本とシンガポールとの違いなどを認識する事ができました。

金庫職員からは、シンガポールの学生達は将来の明確なビジョンを持っており、それに向けて段階的に努力を重ねており大変刺激を受けたという意見も聞かれ、仕事や将来に対する意識を高める有意義な時間となりました。



▲広島信用金庫職員との交流会

〈6月30日(金)〉

お世話になった受入企業の研修担当者をお招きし、ANAクラウンプラザホテル広島において、フェアウェルパーティーを開催いたしました。勤務先でのエピソードなど思い出話を花をさかせ、記念撮影等で大変盛り上がり、笑顔で再会を祈念し本研修会を終えました。



▲フェアウェルパーティー



広島修道大学 国際コミュニティ学部 2年 藤川 巧汰

大学の国際センターから「シンガポール国立大学の学生が修道大学を訪問する。」と聞いて、この交流会に参加した。まず行ったのは、iCafeだ。これは、主に留学生などとの交流に使用されているスペースだ。そこで昼食をとりながら英語で交流を開始した。彼らの多くは日本と何らかの関わりを持っていることに驚いた。親や親戚が日本人という学生もいた。そのためか日本語が話せたり、簡単な日本語なら理解できたりする人もいた。その後、ディスカッションに移った。お互いの国のおすすめ観光スポットや食べ物などに加え、異文化に対する考え方の違いなども話し合った。日本よりもかなりダイバーシティ

化が進んでいるシンガポールに住む人々の、広い価値観を知ることができ視野が広がった。

このイベントがきっかけのひとつとなり、この冬に友人とシンガポールに旅行することになった。そこで、SNSで連絡してみたところ、快く様々な情報をくれた。うまく行けば現地で会えるかもしれない。

軽い気持ちで参加したが、新しい発見や友達と出会えるとても貴重な機会だった。

広島市立大学国際学生寮での多文化交流イベント 広島市立大学 国際学部3年 梶岡 大輝

広島市立大学国際学生寮「さくら」では、6月7日にショートステイの学生さんへの歓迎会を行いました。寮で暮らす留学生や日本人学生も参加し、国際色豊かなイベントになりました。

イベント前半は日本の遊びを紹介しました。

今回はかるた・こま・けん玉を紹介しました。最近触れる機会が少なくなってきたからか、中には日本人学生が苦戦する様子も見受けられましたが、みんなで挑戦しながら文化交流ができました。

イベント後半は日本の食べ物を紹介しました。

今回は寿司や天ぷら、そして広島のソウルフードであるお好み焼きを、一緒に作って食べながらシンガポールの皆さんに知っていただきました。夕食も兼ねて実施したので、食材が足りなくなるくらい盛り上がりました。

イベントを通して、日本とシンガポールの違いや日本の印象を知ることだけでなく、参加者それぞれの趣味や勉強していることについてお話ししながら交流を深めることができました。



このたびの日本企業体験研修ではお忙しい中、受入企業、ホストファミリーの方々をはじめたくさんの皆様にご尽力いただき、誠にありがとうございました。

本事業は、今後も引き続き実施していく予定ですので、会員の皆様におかれましても、学生受入企業、ならびにホストファミリーとしてのご協力を是非ともご検討いただきたいと思います。

シンガポール日本語研修留学生奨学金制度第17期生の紹介

シンガポール国立大学卒業生で、現在、第14期生として、今年5月から三原市の三原国際外語学院で勉強中のチョング・クワング・エイク・エルデリックと申します。

私は、16歳のとき、村上春樹の「ノルウェイの森」を読んで、日本文学に興味を持つようになりました。それから、色々な日本文学の本を読んで、「日本語で読んでみたいなあ」と思うようになり、日本語の勉強を始めました。大学での主専攻は哲学でしたが、副専攻として言語学や日本研究科を選びました。大学を通じて、一年間日本に住んで日本語を学ぶこのプログラムを知り、日本語力を磨いて日本文学を日本語で読むという私の目標を実現したいと思って、このプログラムに参加しました。

三原での生活は、シンガポールに比べて、穏やかでのんびりできます。ですが、私は日本語の勉強や交流事業などの活動があって忙しくて充実した毎日です。同時に、日本人の方と交流したりするチャンスがあり、日本社会や文化を肌で感じることができて、いい経験になっています。今回の三原での勉強は私にとって人生で初めての留学経験です。慣れ親しんだ環境から抜け出して自立することは、最初難しくてもたくさん勉強になります。特に、人間関係について学びました。違う文化の人と一緒に学校生活を送り、共に考えて、いい関係を育てることなど、色々なことを身につけました。この留学の経験を活かして、できれば、将来は日本語を使う仕事をしたいと思っています。卒業までに、日本語の会話がもっと上手なるようにこれからもがんばります。



広島シンガポール協会 第14回シンガポール親善訪問団の派遣

広島シンガポール協会では、令和5年8月22日(火)～27日(日)の日程で、第14回シンガポール親善訪問団を派遣し、シンガポールとベトナム(ホーチミン)を訪問しました。武田会長を団長に18名の親善訪問団は、シンガポール国立大学への表敬訪問をし、広島で企業研修等を体験した学生たちとの交流会の開催など、親善訪問ならではの交流・親睦を図ることができました。今回参加された松本 康弘様にご寄稿いただきましたので寄稿文を掲載いたします。

広島シンガポール協会親善訪問を終えて

株式会社NTTデータ中国 松本 康弘



2023年8月22日(火)

関西国際空港にAM9:00に集合し、結団式を行い、いざ、シンガポールへと意気揚々と飛行機に乗り込みました。約6時間のフライトを経て、シンガポールに到着後、四川料理店にておいしい夕食をいただきました。今回ご一緒した訪問団の皆さんは、とても気さくで楽しいひとときを過ごしました。

2023年8月23日(水)

シンガポール国立大学へ訪問。企業体験研修で広島に来ていた学生の皆さんの案内で、キャンパス内を見学しました。

校舎内の日本研究学科の掲示板には、広島シンガポール協会との共催による広島企業体験研修やホームステイの記事が掲示されています。これにはシンガポール国立大学と広島のつながりを感じることができました。日本研究学科のフロアには、茶室もありました。扉を全開にすることで、テラスとひと続きの舞台にもなるそうです。



次に向かったのは日本研究学科の教室です。講義中でしたが、ご厚意で見学させてもらいました。そこで、30年前の私の大学時代との相違点を3つ発見しました。1つ目は、エアコンが効いていて涼しく集中できる環境であること。2つ目は、全員がパソコンかタブレットを活用して受講していること。最後に、居眠りしている学生のいないことです。学生皆さんの日本を真剣に学ぼうとする姿勢は、私にはとてもまぶしく映りました。ちなみに講師の方も、学生時代、広島企業体験研修の参加者だったそうです。広島シンガポール協会のこの取り組みは、シンガポールと広島、日本との関係強化に一役も二役も買っているのだと実感いたしました。

ランチは、学生の皆さんと学食でいただきました。メニューは、シンガポールの名物チキンライスから、中華料理や台湾のルーローハン、韓国料理そして和食などバリエーション豊富です。なんと外部のフードデリバリー業者も多く出入りしていました。

キャンパスは広く、緑が多くきれいです。学食もとてもおいしく、環境は整備されています。学生の皆さんをとてもうらやましく思いました。

午後からは、シンガポール国立大学を離れ、マーライオン、植物園を廻りました。植物園の中の蘭園は、多種多様な蘭が咲いておりとてもきれいでした。シンガポール唯一の世界遺産は、植物園だそうです。

マーライオンは世界遺産ではないのは意外でした。

夕食は再び、シンガポール国立大学の学生さんと合流し、交流会です。おいしいシンガポール料理をいただきながら、将来の希望や地元のお話など、学生の皆さんからたくさんの刺激をいただきました。



2023年8月24日(木)

3日目はシンガポール市内のチャイナタウン、リトルインディア、アラブストリートを見学しました。シンガポールという国はそのルーツから、多種多様な民族・文化が混在しています。そしてどの街も治安が悪いということもありません。シンガポールは、多様性を受け入れる度量と土台となる規律を併せ持っている国なんだと思います。

夕方には、空路でベトナムのホーチミンへ。夕食はホーチミンの繁華街のレストランでいただきました。移動のバスから見た、ホーチミンの市街はたくさんのスクーターで溢れており、ちょっとしたカルチャーショックでした。中には3人乗り、4人乗りなど無茶な乗り方も見受けられます。いま、ホーチミンは地下鉄の敷設工事中ですが、まだ鉄道はなく、主な移動手段がスクーターなのだそうです。

なかでも日本製のスクーターはとても人気が高く、日本での価格より高価とのこと。ちなみにビールも日本より高いです。日本は意外に物価も高くないのかも知れません。



2023年8月25日(金)

4日目はメコン川を訪れました。川幅は最大3kmととても大きな川です。ゆっくりな流れも相まってその雄大さは一層際立ち、とても感動しました。川は泥で濁って茶色ですが、この泥の栄養が肥沃な土壌という恩恵をこの土地に与えているそうです。



さて、メコン川にある中州の島に上陸し、養蜂場、ココナッツキャンディ工場を見学後、ジャングルクルーズを楽しみました。中州の島には、観光を中心とした産業があり、そこに生きる人々の暮らしを肌で感じることができました。

2023年8月26日(土)

ホーチミン最終日は、市内の名所を廻りました。まずは南ベトナム政権時代の大統領官邸です。優雅さとベトナム戦争時の緊張感が感じられました。次に歴史的な建物の中央郵便局を見学後、ペンタイン市場を訪問しました。この市場では、壁のように重ねた多くのブランドバックやスニーカーのフェイクやお土産物を売っています。店員さんの皆がくちぐちに、「あなた、何探してる」と日本語で声をかけてきます。この街の活気が濃縮されたような場所でした。今回の親善訪問の行程の中で強く印象に残った場所の一つです。



昼食後、自由行動を経て、帰路につきます。ホーチミンからシンガポールを経由し、関西国際空港へ機内泊となります。あっという間でしたが、無事に終えることができました。

最後に

今回の訪問の中では、特に、シンガポール国立大学の学生の皆さんの前向きさ、シンガポールの多様性、ベトナムのエネルギーに感銘を受けました。この経験は私の人生の中で大きな財産になると思います。参加できて大変良かったと心から思います。

最後になりましたが、このような国際交流の機会をいただき、広島シンガポール協会の武田会長、事務局の皆様、ご一緒させていただきました参加者の皆様、JTB長尾様、大変ありがとうございました。

協会役員名簿

協会名誉顧問・顧問

業名	氏名	現職名
名誉顧問	オン・エン・チュアン	シンガポール共和国駐日本国 特命全権大使
顧問	湯崎 英彦	広島県知事
顧問	松井 一實	広島市長
顧問	池田 晃治	広島県商工会議所連合会 会頭

協会参与

業名	氏名	備考
参与	高木 一之	広島信用金庫 元理事長
参与	坪井 宏	広島信用金庫 元理事長

協会役員

(50音順)

運営委員

(50音順)

職名	氏名	現職名
会長	武田 龍雄	広島信用金庫 会長
副会長	田中 浩憲	マツダ株式会社 常務執行役員 アセアン事業担当、マツダ・サウス・イースト・アジア,Ltd.社長
専務理事	川上 武	広島信用金庫 理事長
理事	石田 恒夫	学校法人石田学園 理事長
理事	上田 宗岡	上田宗箇流 家元
理事	植竹 正隆	中国塗料株式会社 代表取締役会長
理事	植野 実智成	広島商工会議所 専務理事
理事	越智 光夫	広島大学 学長
理事	熊平 明宣	株式会社熊平製作所 代表取締役社長
理事	蔵田 秀和	公益財団法人ひろしま産業振興機構 常務理事
理事	小泉 崇	公益財団法人広島平和文化センター 理事長
理事	坂本 眞平	広島工業大学専門学校 校長
理事	佐々木 孝富	オタフクソース株式会社 代表取締役社長
理事	高橋 正光	萬国製針株式会社 代表取締役会長
理事	田中 秀和	田中電機工業株式会社 代表取締役会長
理事	田原 範朗	公益財団法人広島市文化財団 理事長
理事	中川 日出男	学校法人広島女学院 理事長
理事	新延 聡子	広島テレビ放送株式会社 常勤監査役
理事	西田 敏啓	公益財団法人ひろしま国際センター 専務理事(兼)事務局長
理事	原田 康夫	広島大学 同窓会長 名誉教授
理事	前田 耕一	中国電力株式会社 常務執行役員 国際事業部門長
理事	箕輪 幸人	株式会社テレビ新広島 代表取締役社長
理事	宮迫 良己	株式会社中国放送 代表取締役社長
理事	三吉 吉三	株式会社広島ホームテレビ 代表取締役社長
理事	森 永力	県立広島大学 学長 兼 広島県公立大学法人 副理事長
理事	矢野 泉	広島修道大学 学長
理事	山根 恒弘	ヤマネホールディングス株式会社 取締役会長
理事	山本 慶一朗	株式会社中国新聞社 社主兼取締役
理事	若林 真一	広島市立大学 学長
監事	山口 真司	広島エフエム放送株式会社 代表取締役社長
監事	吉岡 敬司	広島信用金庫 専務理事

氏名	現職名
郭 春貴	広島修道大学 名誉教授
瀧口 啓倫	広島工業大学専門学校 教頭
橋本 康男	初代・シンガポール広島事務所長
松田 敦子	公益財団法人ひろしま産業振興機構 国際ビジネス支援センター 部長
松本 峰男	株式会社熊平製作所 秘書室長
向久保 亨	公益財団法人広島平和文化センター 国際部 国際市民交流担当部長
山縣 透	公益財団法人ひろしま国際センター 交流部長(兼)総務課長
吉村 知子	株式会社中国新聞社 総務局次長兼読者広報部長
徳永 明彦	広島信用金庫 地域交流部長

事務局では、本会報を充実した楽しいものにするため、皆様の寄稿をお待ちしております。
住所・氏名・電話番号を明記の上、事務局までお寄せ下さい。

2023年12月刊行

問合せ先/広島シンガポール協会事務局 TEL(082)245-0512 FAX(082)241-0531 E-mail: tiiki@hiroshin9.jp
(〒730-8707 広島市中区富士見町3番15号 広島信用金庫地域交流部内) <https://www.hiroshin.co.jp>